

外用鎮痛
消炎剤

第2類
医薬品

販売名：アンメルツヨココロNEO
External Anti-Inflammatory/Analgesic

⚠️ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) ぜんそくを起こしたことがある人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 15才未満の小児

2. 次の部位には使用しないこと

- (1) 目の周囲、粘膜炎等
- (2) 皮膚の弱い部位(顔、頭、わきの下等)
- (3) 湿疹、かぶれ、傷口
- (4) みずむし・たむし等又は化膿している患部

3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎剤を使用しない

4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (3) 次の医薬品の投与を受けている人
ニューキノロン系抗菌剤

2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮膚のあれ、落屑(フケ、アカ)のような皮膚のはがれ、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがある
その場合は直ちに医師の診察を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィ ラキシー)	使用后すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
接触皮膚 炎、光線 過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身にひろがることがある。また、日光があたった部位に症状があらわれたり、悪化することがある

3. 5～6日間使用しても症状がよくなるない場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

使用に際して、この説明書きを必ずお読みください。また必要ときに読めるよう大切に保管してください

【効能・効果】

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所(冷暗所)にキャップをしっかりとめて箱に入れて立てて保管すること
- (2) 火気に近づけないこと
- (3) 小児の手の届かない所に保管すること(4)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (5) 使用期限をすぎた製品は使用しないこと。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること

●キャップをしっかりとめないと液がもれることがある

●衣類に付着した場合には、各衣類の洗濯表示に従って、すみやかに洗うこと

製品のお問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします

＼あったらいいな／をカタチにする

発売元 小林製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道徳町4-4-10

小林製薬 お客様相談室
0120-5884-01
9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元 小林製薬株式会社
〒567-0057 大阪府茨木市豊川11-30-3

税 控除 対象

MADE IN JAPAN

特 徴

- ① ジクロフェナクが患部に浸透、痛みを鎮める
- ② 3種の血行促進成分がジンジン温かな実感とともに、滞った患部の血流を改善
- ③ L-メントール5%配合、爽やかな使い心地

—【成分・分量】100g中—

ジクロフェナクナトリウム 1g
L-メントール 5g
トコフェロール酢酸エステル 0.1g
ノナン酸パニリルアミド 12mg
ニコチン酸ベンジルエステル 10mg
添加物として、グリチルレチン酸、ミリスチン酸イソプロピル、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、乳酸、エタノールを含有する

—【用法・用量】—

1日3～4回適量を患部に塗布してください。ただし、塗布部位をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないこと。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないでください

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守する
- (2) 本剤は、痛みやはれ等の原因となっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用する(3)本剤は外用にのみ使用し、内服しない(4)1週間あたり50gを超えて使用しない(5)目に入らないように注意する。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合には、眼科医の診察を受ける(6)使用部位に他の外用剤を併用しない(7)通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしない
- 皮膚の特に弱い方は、同じ所に続けて使用しない
- スポーツや入浴等、汗をかく前・後に使用した場合、ヒリヒリとした刺激、痛みや熱感が増すことがあります。これらの症状が強い場合は、石けんで洗い流すと緩和します

火気厳禁 第一石油類 危険等級Ⅱ
エタノール含有物

副作用被害者救済制度 ☎0120-149-931

10215541

